

道北家族会だより

第33号 道北知的障がい児・者家族会

令和7年8月発行

退任ご挨拶

道北知的障がい児・者家族会 前会長 樋口 英男



このたび、令和7年6月14日をもちまして、道北家族会会長の職を退任いたしました。

在任中、職務を全うできましたのも、家族会会員の皆様方の温かいご指導とご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

今後につきましては、新会長並びに事務局の方々には大変な事とは存じますが、家族会、特に弱者（障がい者）のために頑張っていたきたいと願っております。

最後に、会員の皆様には、長年にわたりご協力を賜り、ありがとうございました。

就任ご挨拶

道北知的障がい児・者家族会 会長 植村 規



日頃より、道北家族会の事業活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

私こと

このたび、道北知的障がい児・者家族会会長をお引き受けすることになりました。

もとより微力ではございますが、道家連及び全施連と連携して道北家族会の更なる発展に尽くしたいと存じます。

いま、急いで取り組むべき課題は「地域移行」です。利用者さんのために家族と施設が力を合わせて、国の政策に全国規模で対処していかなければなりません。会員皆様のご支援ご助力をお願いいたします。

樋口前会長には、私は事務局長として6年間大変お世話になりました。

遠方の道東地域にお住まいにもかかわらず、80歳まで長きにわたり会長職を務められ、大変お疲れ様でした。

今後は相談役としてご助言を頂けることになりましたので、どうぞよろしくお願いいたします。

なお、会長交代は総会直前に出た話のため、私の後任の事務局長は決まっておりません。来年の総会に向けて、役員皆様と事務局長選任の相談をさせていただきます。

新事務局長が決まるまでは、私が会長と事務局長を兼任いたしますので、事業の周知・報告など事務的な面で遅れが出るかもしれません。この「道北家族会だより」も他の事情も重なって1ヶ月以上遅れての発行となりました。会員皆様には何卒ご理解くださいますよう、よろしくお願いいたします。

道北知的障がい児・者家族会の定期総会終了

6月14日（土）、旭川市障害者福祉センター（おびった）にて、令和7年度道北知的障がい児・者家族会定期総会が行われました。

定期総会は、出席会員団体13団体（総会出席人数26人）、委任状提出会員団体7団体で総会が成立しました。

樋口会長が「皆さんのお力をいただきながら、施設と協力して、障がい者が安心して幸せに楽しく生活できるように、道北家族会として活動していきたいと思いますので、皆さんのご協力をお願いいたします」と挨拶しました。



続いて、昨年暮れにご逝去された、道北家族会の初代会長であり、道北家族会に多大な貢献をされた荒川繁雄様に黙祷を捧げました。

その後、旭川ねむのきの園保護者会の須釜会長を総会議長に選出して議事に入りました。

前年度事業報告、同決算報告、監査報告は、すべて承認されました。

事業報告 道北家族会定期総会 R6.6.15、同役員会 R6.5.11

（前年度）道北家族会研修会 R6.9.7

講演：安心して本人・家族が暮らし続けるためには

～10年先・20年先の「安心」が展望できなければ意味がない～

講師：旭川市立大学 保健福祉学部 教授 北村典幸氏

道北家族会だより 2回発行（R6.7、R7.1）未加入家族会にも送付 など。

決算報告（収入）決算額 760 千円 会費収入 12 千円 前年度繰越金 748 千円

（前年度）（支出）決算額 321 千円 会議費 21 千円 研修会費 36 千円

諸会費(加盟費) 202 千円 旅費 46 千円など

（収入）－（支出）＝ 次年度繰越金は 439 千円

※会費収入は全施連個別年会費のみ

諸会費(加盟費)の内訳：道家連年会費 160 千円 全施連年会費 42 千円

事業計画 加盟家族会保護者会の連携と情報交換（会報を年2回発行、研修会等開催）

（今年度）未加入家族会への加入呼びかけ、道家連及び全施連との連携 など

重点事業：知的障がい者の医療費の無料化の取り組み

※研修会は10月4日（土）午後に旭川市で開催する予定です。（別掲）

予算収支（収入）予算額 788 千円 会費収入 349 千円 前年度繰越金 439 千円

（今年度）（支出）予算額 788 千円 諸会費(加盟費) 202 千円 旅費 100 千円

会議費 50 千円 研修会費 70 千円など

予備費は 336 千円

事業計画(案)と予算(案)は、ともに可決されました。

*他の議案：会計事務処理簡素化のため、旅費規程の一部改正を提案。⇒ 可決

*役員改選：樋口会長と神野副会長が、ご高齢である事などを理由に退任を希望された。

会長の後任には植村事務局長を充て、今年度は会長が事務局長を兼任し、事務局長と副会長1名は来年度総会において選任。なお、樋口会長は相談役となられる。⇒ 承認

*5月に道北地区以外の施設家族会から全施連加入希望があった。今後、道北家族会として広く道内他地区の施設家族会に全施連加入を呼びかけたい。⇒ 承認

以上をもって、令和7年度の道北家族会定期総会は終了しました。

道家連の定期総会・研修会

5月25日に北広島市において道家連の定期総会と研修会が行われました。

定期総会では、前年度事業報告、同会計報告、同監査報告はすべて承認され、今年度事業計画、同会計予算も可決されました。

役員改選は、全役員の再任と新任1名の選任がありました。

研修会は、2つの講演で構成されました。

- ①札幌市自閉症者自立支援センター「ゆい」の高橋氏による「自閉症、強度行動障がいを持つ方の支援」
- ②北ひろしま福祉会による「看取り支援」の実践経験を踏まえての提案

このうち①の講演については、10月4日に行われる道北家族会の研修会でも同様の内容で講演を行います。是非お聴きください。とても良いお話です。(このページの下をご覧ください)



上：定期総会 下：研修会



全施連の理事会・社員総会

6月25日に神戸市及びオンラインで全施連の理事会と定時社員総会が行われました。

理事会と社員総会の共通議題として、役員の選任、前年度事業報告、同収支決算報告、同監査報告、今年度事業計画、同収支予算計画と旅費規程の改正が審議されました。

また、理事会では他に顧問の委嘱、重度の知的障がい者殺人事件に対する千葉地裁判決、厚生労働省の障害者支援施設の在り方に係る検討会、全施連全国大会鹿児島大会について審議又は報告されました。

翌26日には、オンライン併用で全施連意見交換会を行い、「知的障がい者の状況に応じたライフプランに何が必要か」をテーマに意見を交わしました。

意見交換会と前日の理事会では、様々な課題と意見が出されましたが、特に地域移行に関する意見が多く出されたことをふまえて、国への意見書または要望書を作成する方向で作業を進めることになりました。

また、施設における地域連携推進会議の設置を促し、家族会代表者を必須構成員とするよう求める文書を各道県連から各道県あてに提出するためのひな形を作成することになりました。



オンライン(Zoom)を併用して 全国の道県連が出席

**10月4日(土) 13:30 旭川市 おびった にて
道北家族会研修会を開催 是非ご参加ください!**

講師：札幌市自閉症者自立支援センター ゆい 高橋拓矢氏

演題：『自閉症、強度行動障がいを抱える方への支援』



家族会 施設の ご紹介

当会に加盟している各家族会保護者会と各施設を順次ご紹介します。

今回は「上川更生ハイム家族会」です。

【家族会保護者会等の名称、代表者、会員数】

上川更生ハイム家族会

会長 藤 永 聖 治 氏 会員数 77 名

【施設の名称、所在地、利用定員】

障がい者支援施設 上川更生ハイム

旭川市東旭川町下兵村 1 1 7-6

施設入所支援 40 名

生活介護 60 名

短期入所（併設型）2 名（男女各 1 名）

就労継続支援 B 型 20 名 共同生活援助 30 名



【施設の特徴】

当施設は昭和 52 年に開園し、下兵村の豊かな自然の下、いきいき、のびのびと活動が続けて参りました。障害者総合支援法に基づき、施設利用者さまが豊かな生活を送ることが出来るように、個々の発達過程に応じた生活支援を行ない、将来地域で自立できることを目指しています。

また、自閉症スペクトラム障害の方への支援を充実させるために構造化や個別化等の専門的なアプローチに取り組んでいます。



【家族会保護者会等の主な行事と開催時期】

4 月：施設入所・通所家族と職員の懇談会 6 月：花見

7 月：役員会 9 月：ハイム祭り 10 月：役員会

11 月：家族と職員の懇談会

【家族会保護者会等、施設の自己紹介コメント】

上川更生ハイム家族会は、利用者の福祉の向上とその家族の幸福を追求すること、各種行事の支援を目的としています。

春には総会、その後の研修会、秋にも研修会を開催し、家族の情報交換、支援員との支援に対する協議の場を設けています。

夏には、施設のある旭川市豊岡地区の住民にも開放したハイム祭りを支援員、家族会が一体となり、運営にあたっています。

特に、地域の一般市民に対し、障害者に対する理解を深めることに大いに役立っているものと考えております。

